

5 / 31 (金) の発表

報道発表資料の配付日時 5月31日 (金) 15時00分

発表項目 (行事名)	強風と大雨に備えての営農技術対策 (号外)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>札幌管区气象台によると、北海道地域では、6月1日の昼前から夜遅くにかけて、上空に寒気を伴った気圧の谷が通過する影響で、大気の状態が非常に不安定となり、竜巻などの激しい突風や落雷、ひょう、急な強い雨などによる被害が見込まれることから、各総合振興局・振興局及び農業改良普及センターに、強風や大雨に備える営農技術対策について周知することとしたので、お知らせします。</p>		
参考	<p>営農技術対策は、毎年2月から積雪前まで、道が営農指導を行うときに特に留意すべき点を取りまとめ、農業改良普及センター等に通知するものです。気象による災害の恐れや病虫害等の発生など、必要に応じて随時「号外」を出すことがあります。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	<p>農政部生産振興局技術普及課研究連携グループ (担当者: 伊藤)</p> <p>TEL 011-231-4111</p> <p>ダイヤルイン 011-204-5380</p> <p>内線 27-806</p>		

強風と大雨に備えての営農技術対策

令和元年(2019年)5月31日
北海道農政部

注 意 項 目

- 1 最新の天候情報に注意して、早めの準備を行う。
- 2 雷や風雨が強くなってからは、ほ場への見回りをしない。
- 3 ビニールハウスの緩み・たるみは、風が強くなる前にしめる。

北海道地方では、これから上空に寒気を伴った気圧の谷が通過するため、6月1日昼前から夜遅くにかけて、大気の状態が非常に不安定となり、竜巻などの激しい突風や落雷、ひょう、急な強い雨が降ることが予報されております。このため、大雨による低い土地の浸水や土砂災害、暴風や落雷などに警戒してください。また、発達した積乱雲の近づく兆しのある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全の確保に努め、随時発表される気象情報に十分注意し、次の事項の徹底に努めてください。

札幌管区气象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

第1 ビニールハウス等農業施設の暴風雨対策

- 1 ビニールやハウスバンド等施設各部の損傷・ゆるみなどを点検し、必要に応じて補修する。
栽培を終えたハウスは、ビニール等はずしておく。
- 2 ハウスバンドを固定するアンカー杭が浮き上がっていないか確かめ、修正しておく。
- 3 ハウスの筋かいは、緩んでいるところだけを締め付けると周囲の筋かいは緩むので、ハウス全体の筋かいは均等に締め付けられるように調節する。また、ハウス中央部に支柱を設置し暴風雨に対するハウス強度を高める。
- 4 ハウスの出入り口、天窓、側窓、換気扇及び側面のフィルム巻上げ部などの開口部が、きちんと締まるかチェックしておく。
- 5 ビニールフィルムが強く緊張するように、ハウスバンドをきつく締めておく。
バンドレスの場合は、フィルムを均等に緊張することが難しく、強風でフィルムがバタつくフィルムが破れやすくなるので、妻側端部及び適当な中間部に防風ネットを張り、バタつかないようにする。
- 6 被覆資材が破れ、風がハウス内に吹き込むとハウス内の圧力が大きくなり、ハウス全体が大きな被害を受ける。また、飛来物によるハウスの破損がないよう、ハウス周辺の飛散しやすいものを片付けておく。
- 7 ビニールハウス周辺の排水溝は、ハウスのすき床面より低く掘り下げ、ボイラーや移動でき

再稼働の確認が必要な機器については、ブレーカーを落とし、再稼働の優先順位を確認しやすいマークをつける。

- (5) 停電で搾乳が不可能な場合、牛舎への出入りは必要最小限にし、牛に搾乳刺激を与えない。搾乳再開までの時間が前回搾乳から概ね16時間以内であれば一般的に乳量や乳質に特に問題は生じない。また、粗飼料の食い込み状況を注意深く確認した上で濃厚飼料を減給するとともに、牛の体調を確認し、異常牛は速やかに獣医師の診断を受ける。
- (6) 手搾りが可能な酪農家は、泌乳前期牛の搾乳を優先する。

3 停電解消後について

- (1) 通電後は優先順位に従ってブレーカーを戻し、ミルカーなど電気を動力源とする機械が正常に作動するか速やかに点検する。
- (2) 通電忘れがないか、再度確認する。
- (3) 機器が正常に稼働することを確認できたら、直ちに搾乳する。ただし、前搾りを行い凝固物（通称ブツ）の有無を確認し、罹患している場合は治療する。
- (4) 牛の体調を確認して、異常牛はすみやかに獣医師の診察を受ける。
- (5) 停電中にバルククーラーで冷却中であった生乳は、速やかに集乳できるよう体制を整える。なお、出荷の際には、細菌数の検査を実施する。